

同時配付：国土交通記者会、
国土交通省建設専門紙記者会、
国土交通省交通運輸記者会、
筑波研究学園都市記者会

平成30年3月1日
水管理・国土保全局防災課
国土技術政策総合研究所

全国初！「防災カードゲーム」を使った防災教育授業をつくば市内の小学校で行います！

3月9日（金）につくば市立吾妻あづま小学校で、カードゲームを活用して「洪水時のあぶないこと」について学ぶ防災教育授業（45分間）を行います。
カメラ入りでの取材が可能です。

【取材可能スケジュール】

1. 日時 平成30年3月9日（金）11:35～12:20
2. 場所 つくば市立吾妻小学校（茨城県つくば市吾妻2丁目16）
3. 概要 小学6年生の1クラス（約30名）を対象とした授業
11:35 河川に関する基礎授業（国総研による出前講座）
11:50 防災カードゲームを使用したグループワーク（約30分間）
3～4名の班で、カードゲームを用いた「防災七並べ」を行い、「洪水時のあぶないこと」を学びます。

4. 取材等

- ・別紙「取材登録書」に必要事項をご記入の上、3月7日（水）15時までにFAXでご登録ください。
- ・取材に際しては、別紙の注意事項をよくご確認ください。



当日使用する防災カードゲーム
『このつぎなにがおきるかな？』
(2/26 プレスリリース)

【お問合せ先】

(全般)

国土交通省水管理・国土保全局防災課

課長補佐

竹村 雅樹

TEL:03-5253-8111 (内線 35-739)

企画係長

天井 洋平

(内線 35-742)

03-5253-8457 (直通)

FAX:03-5253-1607

(出前講座に関すること)

国土技術政策総合研究所企画部企画課

主任研究官

長屋 和宏

TEL:029-864-4090 (内線 3154)

FAX:029-864-1527

平成30年2月26日
水管理・国土保全局防災課

防災カードゲーム『このつぎなにながおきるかな？』 New リリース！

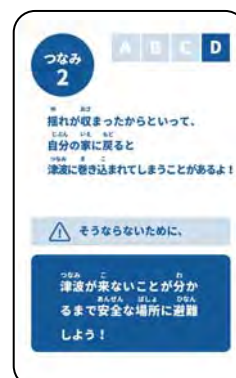
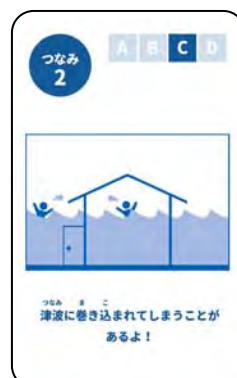
子供たちが遊びながら防災について学ぶことができるカードゲーム『このつぎなにながおきるかな？』をリリースします。

地震の揺れがおさまり帰宅したら津波が家に！ドアの外に水がたまると玄関が開かなくなる！津波や水害が発生したときに起こる危険な状況をカードゲームにしました。

防災教育の時間、休み時間や放課後に、みんなでワイワイ遊んで防災力を身につけよう！

- 国土交通省では、防災教育に対し様々な支援を実施しています。
- 津波や水害が発生した時に起きる危険な状況を、全60枚のカードゲームにしました。
- 下記 HP に、印刷用データ（市販の名刺カードや葉書用紙に印刷できます）と遊び方を掲載していますので、ぜひ印刷してご活用ください。

http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai01_tk_000005.html



【お問合せ先】

国土交通省水管理・国土保全局防災課

課長補佐
企画係長

竹村 雅樹
天井 洋平

TEL: 03-5253-8111 (内線 35-739)
(内線 35-742)
03-5253-8457 (直通)
FAX: 03-5253-1607

防災カードゲーム

「このつぎなにがおきるかな？」の遊び方



国土交通省

防災カードゲーム「このつぎなにがおきるかな？」の遊び方

1. おおまかな遊び方

1) カードの種類

このカードには、「すいがい」編と「つなみ」編があります。両方、またはどちらか片方でも遊ぶことができます。

2) カードの構成 全体60枚

・「すいがい」(29枚)		
1～7組(1組あたりA～Dの4枚)	28枚	
「これくらいならだいじょうぶかも・・・」	1枚	
・「つなみ」(29枚)		
1～7組(1組あたりA～Dの4枚)	28枚	
「これくらいならだいじょうぶかも・・・」	1枚	
・表紙カード	1枚	
・お問い合わせ先	1枚	

3) 遊べるメニュー

- 例① なにがおきるかならべてみよう！(防災7ならべ)
 例② とるとるカード！(防災かるた)
 例③ だいじょうぶでは ありません！(防災ババぬき)

このほかにも、みなさんで考えてみてください。

例② 【とるとるカード！】(防災かるた)

※「かるた」に似たルールです

1) 人数の目安

3～6人(1グループ) ※そのうち1人が読み上げます

2) 進め方

- ① Dと書かれたカードを「かるた」の「読み札」にします。
- ② 残りのカード(A～C)をテーブルに並べ「かるた」の「取り札」にします。
- ③ 読み上げ係が、Dのカードに書かれたコメントを読み上げます。

ほかのプレイヤーは、読み上げられたコメントと同じ組のカードを素早く取ります。プレイヤーがA B Cをバラバラに取ることができます。一人のプレイヤーが一度にA B Cの3枚を取ることができます。

取ったプレイヤー全員で、A B CカードのコメントとDカードの「！」マークコメント(避難するための注意事項)を声に出して読み上げて下さい。



- ④ 一番多くカードを取ったプレイヤーが勝ちとなります。

3) 振り返し

並べられたA～Dまでのカードをもとに、水害や津波から気をつけること、逃げるための注意事項について、気づいたことを話し合います。

2. 遊び方(ルール)

例① 【なにがおきるかならべてみよう！】(防災7ならべ)

※トランプの「7ならべ」に似たルールです

1) 人数の目安

2～6人(両方のカードを使う場合)
2～4人(片方のカードを使う場合)

2) 進め方

- ① Aと書かれたカードを場にならべます。「すいがい」1～7、「つなみ」1～7の番号順に横に並びます。「すいがい」と「つなみ」の両方を使うことができます。(片方だけでも遊べます。)
- ② プレイヤー全員に、5枚程度均等にカードを配ります。余ったカードは裏面にして山札カードにします。
- ③ じゃんけん等で最初のプレイヤーが、手持ちカードの中からBと書かれたカードを場に出ているAのカード(同じ組のカード)にならべて出すことができます。同じ組のカードで、B→C→Dと続くカードを持っている場合は、1回の中で続けて出すことができます。無い場合は山札カードを引き、Aのカードに続くカードがあれば置くことができます。なければ引いた山札カードを手持ちカードにして(1枚増える)、次の人にバスします。
- ④ 2番目以降のプレイヤーは、③の繰り返しです。
- ⑤ Dのカードを出したプレイヤーは、A B Cカードのコメントと、Dカードの「！」マークコメント(避難するための注意事項)を声に出して読み上げて下さい。
- ⑥ 最初に手持ちカードが無くなったプレイヤーが勝ちです。

3) 振り返し

並べられたA～Dまでのカードをもとに、水害や津波から気をつけること、逃げるための注意事項について、気づいたことを話し合います。

例③ 【だいじょうぶでは ありません！】(防災ババぬき)

※トランプの「ババぬき」に似たルールです

1) 人数の目安

6～8人(1グループ)

2) 進め方

- ① プレイヤー全員に、同じ枚数のカードを配ります。このとき、「これくらいならだいじょうぶかも・・・」カードも1枚混ぜて配ります(トランプのジョーカーの役割です)。
 - ② おなじ組のA B C Dカードのうち、2枚のカードをペアカードとして、テーブルに置くことができます。(プレイヤー全員が見える場所に置いて下さい)
- (ペアカードの例1:「すいがい1」の組 「A」と「C」)
(ペアカードの例2:「つなみ3」の組 「B」と「D」)



- ③ じゃんけん等で最初の人が、隣の人のカードを引きます。ペアとなるカードが引ければテーブルに置きます。
- ④ これらを繰り返し最初に手持ちカードが無くなったプレイヤーから抜けていき、最後に「これくらいならだいじょうぶかも・・・」カードが手元に残ったプレイヤーが負けです。負けたプレイヤーは最後に「だいじょうぶでは ありません！」と言って下さい。

3) 振り返し

並べられたA～Dまでのカードをもとに、水害や津波から気をつけること、逃げるための注意事項について、気づいたことを話し合います。